

「ラボ」基点に商品提案 リンナイ サービス対応強化



内藤弘康社長

事業者の営業活動をサポートする。商品開発では開発本部に新環境試験棟を建設。精度の高い実証データを収集し、多様化する住環境に因應する製品づくりに貢献する。

4月に暁新工場が本格稼働する。「エコワン」の一貫生産体制を実現し、生産力の強化と効率化を図る。旭工場で生産するガス衣類乾燥機などの製品も順次移管する。

アフターサービスは消費者対応力強化を目指し、お客様センターを東西2カ所に集約。「お客様」の満足度こそ、品質力の考えの下、修理完了は24時間以内を目標に取り組んでいく。

リンナイの内藤弘康社長は11日、東京・台場のヒルトン東京お台場で開いた関東地区新春の会で経営方針を説明し、国内体制強化へ①商品提案②商品開発③製造体制④アフターサービスに注力する考えを示した。

商品提案は体験型ショールーム「ほっとラボ」を積極的に活用する。リンナイ製品を直接体験できる生きた営業ツールとして製品の基本性能から最適提案手法まで紹介、

内藤社長は「来年は新中期経営計画を策定、2020年には創業100周年を迎える。熱利用技術の応用で暮らしの課題を解決し、長期成長ビジネスモデルで持続的に社

企画・開発へ連携

関東地区新春の会

リンナイは関東地区新春の会で、ニーズをどう捉えた商品・サービスで需要を開拓するため①得意先参画型の商品企画・開発②現場対応力の強化

に取組む営業方針を掲げた。関東支社は、共働き世帯の増加に対応し「家事ラク」製品・サービスを拡大する。ガス衣類乾燥

機「乾太くん」、レンジフード、食器洗浄機などの家事ラク製品や、美味しさニーズに応えたSiセンサーコンロ「デリシア」、健康・安心ニーズに応えた浴室暖房、床暖房などを拡販する。

販売策として乾太くんのリース、乾太くん+デリシア+エコワンの家事ラク商品セット提案などを説明。食洗機はスライドオープン、フロントオープンタイプなど充実したラインアップを紹介した。家事楽セミナーなどほっとラボの活用事例、ユーザーから販売店までサポートするウェブサイトなども説明した。

川本武彦氏は「今年是不透明で何が起るか分からない。リンナイを中心にチームワークで拡販に努めたい。良い商品が多く、心強い」と述べた。

村谷敬・エネルギーマネジメント総合研究所専務所長の特別講演もあった。



川本武彦氏



橋本政昭氏

川本武彦・関東リンナイ。